特別支援教育部会	
研究課題 〇通常学級における個別の教育的配慮を要する児童生徒一人一人のニーズに応える教育的支援はどうあればよいか～合理的配慮について考える～	
研究内容	研究キーワード
１．通常学級における、学習に困難のある児童生徒への支援	・学習指導に対しての支援方法 ・学習準備段階での支援 ・学習態度への支援 ・保護者対応の困難さ
２．通常学級における、社会性の発達の遅れやコミュニケーションに障がいがあり、主に集団での生活場面に困難のある児童・生徒への支援	・学習や生活ルールへの支援 ・こだわりを持つ児童生徒への支援 ・自傷他傷行為や破壊行為をする児童生徒の支援 ・保護者対応での困難さ
３．通常学級における特別支援を要する児童生徒の校内支援体制や関係機関との連携	・就学指導・進路指導について ・医療機関など関係機関との連携について ・教育相談の持ち方 ・コーディネーター業務（担任との連携） ・校内の特別支援教育の体制

【登録に関わる留意事項】（状勢により、開催方法は変更となることもあります。）

・上記研究内容の１～３のいずれかで登録します。集合時刻、移動距離など考慮して南と北の２ブロック開催にします。開催校は新年度決定した後、連絡します。

・南と北の２ブロック共通で、登録した分科会ごとに作成したレポートを受付で提出します。南と北の２ブロック開催で講演会を行います。講演会内容は、「児童生徒理解と効果的な支援の在り方～児童生徒、家庭、学校３つの困り感を考える～」をテーマとして、スクールソーシャルワーカーによる講演会を行う予定です。

・レポートについては、個人・グループ・学校いずれも可ですが、必ず全員が作成に携わってください。また、レポートは児童・生徒の個人が特定されるようなイニシャルや氏名表記は絶対にしないで下さい。形式は、次年度の課題部会便りまたは、ＨＰでお知らせします。

・本部会は、<u>通常学級の児童生徒に対する特別な支援</u>についての研修が中心となります。特別支援学級の先生は、本部会の趣旨をご理解いただき、通常学級における支援の在り方、実践に生かすことのできる教材または、合理的配慮についてレポートで話題提供をお願いいたします。

文責　伊藤　千織